

山手生へ その3

緊急事態宣言の延長が決まり、学校も6月7日まで休校を延長することになりました。

しかし、5月11日からは、中学、高校ともにオンラインによる教育活動を始めます。詳細は、9日か10日頃に資料を配布します。

多少の失敗や不具合があるかも知れませんが、みんなで一緒になって、楽しい学びの場を作っていきましょう。

さて、遅くなりましたが、課題1の主なものを紹介します。

- 医療従事者やスーパーなどどうしても必要となる場所で働いている人たちへの感謝
- ニュージーランド留学経験者が書いていた、ニュージーランド首相の「力強さと優しさ」に代表される、強い意思を持った言葉

などが多く書かれていました。

また、女性リーダーの活躍が紹介されている記事を引用して、日本との違いを指摘している方もいました。面白い比較だと思います。

下記URLにいくつか紹介してあるのでぜひ読んでください。（閲覧できるのは山手生のみです。山手生は必ず学校から配布されているアカウントでアクセスしてください）

<https://drive.google.com/open?id=12rQK3gSwcpbfn28wQ6hKJoEEHyMggNhv>

課題3です。

「住むとしたらどこの国に住みたいですか」

新型コロナウイルスに関わる政策という観点からみて、どこの国に住みたいか考えてみてください。

結論だけを書くのではなく、3カ国を候補として上げ、その国が行っている新型コロナウイルスに関わる政策の良い点、悪い点をそれぞれ上げて、理由をつけてその中から一つに絞ってください。

それぞれの国がやっている政策はインターネットで調べると思いますが、できるだけ1次情報（政府のHPなど）をもとにしてください。

回答はいつものように学校代表アドレスをお願いします。

最後に、今週のおすすめ本です

1 「13歳からのアート思考 「自分だけの答え」が見つかる」 末永幸歩

冒頭の部分の抜粋です。正解のない世の中で自分だけの答えを見つける大切さを教えてくれます。13歳とありますが、十分高校生や大人が読んでも新たな気づきを与えてくれます。

美術館で、モネの睡蓮を見ていた4際の子供が学芸員に「かえるが見える」といったそうです。

しかし、モネの睡蓮にはかえるなど描かれていません。学芸員はそれをよく知っています。そこで、

学芸員 「えっ、どこにいるの」

子供 「いま水にもぐっている」

2 「国外逃亡塾」 白川寧々

少しばかりの勇気で、「自由」を手に入れる方法を説きます。新たな視点を与えてくれます。

読後の感想など良ければ学校代表アドレス宛に書いてください。